

# Cisco ESA および WSA アンペア ClamAV サービス拒否の脆弱性

Medium	アドバイザーID : cisco-sa-20160531-wsa-esa	<a href="#">CVE-2016-1405</a>
m	初公開日 : 2016-05-31 10:30	
	バージョン 1.0 : Final	
	CVSSスコア : <a href="#">5.0</a>	
	回避策 : No workarounds available	
	Cisco バグ ID : <a href="#">CSCuw60503</a> <a href="#">CSCuv78533</a>	

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

## 概要

Cisco 前進 Malware 保護 ( アンペア ) によって Cisco E メール セキュリティ アプライアンス ( ESA ) のために使用し、ハマグリ ウイルス対策 ( ClamAV ) ソフトウェアの脆弱性 Cisco Web セキュリティ アプライアンス ( WSAs ) は非認証を可能にする可能性があります再起動するためにアンペア プロセスを引き起こすリモート攻撃者。

脆弱性は *libclamav* ライブラリによってインプットファイルの不適切な解析が原因です。攻撃者は影響を受けたシステムのアンペア ClamAV ライブラリからのスキャンを誘発する巧妙に細工された文書の送信によってこの脆弱性を不正利用する可能性があります。正常なエクスプロイトは攻撃者によりアンペア プロセスは再起動しますことを可能にする可能性があります。

この脆弱性に対処するソフトウェア アップデートは、すでにシスコからリリースされています。この脆弱性に対処する回避策はありません。

このアドバイザーは、次のリンクより確認できます。

<http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20160531-wsa-esa>

## 該当製品

### 脆弱性のある製品

この脆弱性は該当するソフトウェア リリースを実行する場合以下のシスコ製品に影響を及ぼします:

- ハマグリ ウイルス対策 ( ClamAV )
- E メール セキュリティ アプライアンス ( ESA )
- Web セキュリティ アプライアンス ( WSA )

## 脆弱性を含んでいないことが確認された製品

この脆弱性は以下のシスコ製品に影響を及ぼしません:

- Advanced Malware Protection for Networks、7000 および 8000 シリーズ機器
- AnyConnect セキュア モビリティ クライアント
- FirePOWER サービスの ASA 5500-X シリーズ
- クラウド Web セキュリティ
- コンテンツ セキュリティ管理アプライアンス ( SMA )
- FireAMP
- Firepower 4100 シリーズ
- FirePOWER 7000 シリーズ アプライアンス
- FirePOWER 8000 シリーズ アプライアンス
- Firepower 9300 シリーズ

## 回避策

この脆弱性に対処する回避策はありません。

## 修正済みソフトウェア

ソフトウェアのアップグレードを検討する場合は、 <http://www.cisco.com/go/psirt> の Cisco Security Advisories and Responses アーカイブや後続のアドバイザリを参照して、侵害を受ける可能性と完全なアップグレード ソリューションを確認してください。

いずれの場合も、アップグレードするデバイスに十分なメモリがあること、および現在のハードウェアとソフトウェアの構成は新規リリースでも継続して適切なサポートが受けられることを確認してください。不明な点については、Cisco Technical Assistance Center ( TAC ) もしくは契約しているメンテナンス プロバイダーにお問い合わせください。

この脆弱性は Cisco 次の AsyncOS ソフトウェア リリースで対処されます:

- Cisco ESA のための 9.7.0-125 およびそれ以降
- Cisco WSA のための 9.0.1-135 およびそれ以降
- Cisco WSA のための 9.1.1-041 およびそれ以降

この脆弱性はまた ClamAV リリースで 0.99 およびそれ以降対処されます。

## 不正利用事例と公式発表

Cisco Product Security Incident Response Team ( PSIRT ) では、本アドバイザリに記載されている脆弱性のエクスプロイト事例やその公表を確認していません。

## 出典

この脆弱性はサポート ケースの解決の間に発見されました。

## URL

<http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20160531-wsa-esa>

## 改訂履歴

Version	Description	Section	Status	日付
1.0	初回公開リリース		Final	2016 年 5 月 31 日

## 利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。